



■Topics –自治体取組事例のご紹介– タクシーを活用した高齢者向けの地域公共交通 「おきタク」(沖郷地区)【山形県南陽市】

山形県南陽市沖郷地区では、沖郷地区在住の **60 歳以上の住民**を対象に、タクシー車両で**自宅から目的地を結ぶ「おきタク」**を運行しています。

取組の経緯

沖郷地区は、住宅地が東西南北に広く分散しており、大部分が**公共交通空白地域**となっていました。さらに、同地区内における**生活利便性に格差**があり、**移動需要が顕在化しにくい**という特性がありました。そのため、住民の意見は「公共交通不要論」と、当時関心が高まっていた「**デマンド型交通への期待**」とで、二極化していました。

そこで、**住民主体による課題解決**を目指し、「**沖郷地区地域公共交通検討会**」が発足しました。勉強会や専門家の助言を通じて、地域に必要な移動支援のあり方を検討し、アンケート結果を踏まえた協議の結果、**タクシーを活用した新たな交通手段として「おきタク」の運用**を計画しました。

実証実験では、**利用者から高い満足度を得られた**ことから、本格導入に向けて協議が進められ、検討会は「**運行協議会**」へと組織を再編し、**運行内容や費用負担の調整等**を経て、令和元年10月1日から「おきタク」の本格運用を開始し、現在まで運行を継続しています。

運行の概要

- 対象:市内沖郷地区在住の **60 歳以上**の方
- 運行時間:平日 8 時～17 時
- 運行範囲:自宅-おきタクのりば
(指定の医療機関、商業施設等全 57 箇所)

利用料金:1 回 **500 円**(片道)

利用方法:①**登録カード**を取得

②**前日予約**(電話)

③**運賃支払い**

④協議会から運行事業者に

後日メーター金額の**差額の支払い 50.6%**



出典:南陽市提供

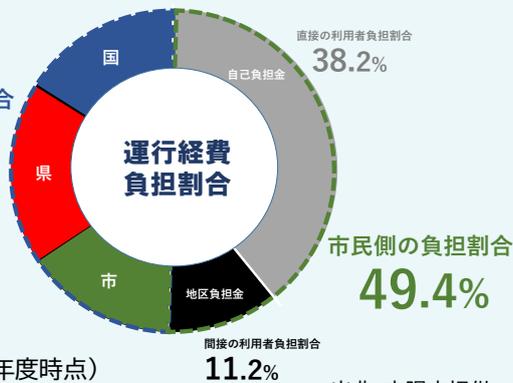
運行実績

運行便数:平均 **12.6 便/日**(R7.3 時点)

登録者数:589 人(対象者の約 **23%**)(R7.3 時点)

実利用者数:280 人(登録者の約 **47%**)(R7.3 時点)

運行経費負担割合:行政側 **50.6%**、利用者側 **49.4%**(R6 年度時点)



出典:南陽市提供

【取組の詳細】南陽市提供資料

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/147-1.pdf>



■総合交通体系グループだより

▶ 国・地方公共団体職員向け研修のご案内

令和7年度 地域モビリティ(移動の利便性)確保研修

本年度も、交通関連業務に従事する国・地方公共団体の職員を対象に、「地域モビリティ〔移動の利便性〕確保研修」を開催します。

地域交通の課題解決に向けた手法や先進的な取組事例について、学識経験者及び地方公共団体等による講義やグループ演習を行い、地域モビリティに関する企画立案能力やマネジメント能力の向上の機会を提供します!

お申込み期間が**7月7日(月)まで**となっておりますところ、ぜひ奮って本研修の機会をご利用いただきますよう、ご案内申し上げます。

【お問合せ先】

国土交通大学校 計画管理部 企画情報科 吉田・松本・菅原

電話: 042-321-7074

E-mail: [col-keikakukanri4\(at\)gxb.mlit.go.jp](mailto:col-keikakukanri4@gxb.mlit.go.jp)

※(at)を@に変えてお送りください

8/25(月)
~8/27(水)
開催



(クリックで PDF に移動)

▶ FF-Data(訪日外国人流動データ) 2023 年分を作成しました

国土交通省では、訪日外国人の都道府県を越える国内流動状況を把握できる [FF-Data\(Flow of Foreigners-Data:訪日外国人流動データ\)](#) を作成しています。

FF-Data は、訪日外国人を対象として、国際航空旅客動態調査と訪日外国人消費動向調査で得られたサンプル情報を元に、出入国管理統計を用いて拡大処理を施すことで作成している加工統計データで、都道府県間の流動量、利用した交通機関、国籍等の把握やこれらを組合せた分析が可能です。

官公庁、地方自治体、交通事業者、研究機関等の多くの主体において、観光施策立案(サービス改善や他地域との連携強化)等に広く活用されています。

コロナ禍により大幅に減少した訪日外国人の国内流動量について、コロナ禍前の2019年と比較すると、2023年は約8割まで回復したことがわかります。

データは以下のページに掲載しています。

【国土交通省ホームページ】

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000022.html

【e-Stat 政府統計の総合窓口 掲載ページ】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00600466>



【お問合せ先】

国土交通省 総合政策局 総務課(総合交通体系)

電話: 03-5253-8111 (内線 53-114)

E-mail: [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

■総合交通メールマガジンのご案内

▶総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、**交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組み**を幅広く紹介することを目的として発行しているメールマガジンです。主な対象者は、都道府県・市町村等の交通施策担当者ですが、**どなたでもお申込みいただけます**。

当メールマガジンで紹介する記事は、執筆者が任意の協力ののもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

配信をご希望の方は、以下の事項を記載の上、4 ページの「お問合せ先」宛てにメールにてご連絡ください。

【配信申込】

以下の事項を記載の上、4 ページの「お問合せ先」宛てにメールにてご連絡ください。

(団体の場合) 所属、氏名、電話番号、メールアドレス

(個人の場合) 所属(職業)、氏名、電話番号、メールアドレス

【バックナンバー】

国土交通省ウェブサイトにて、過去に配信したメールマガジンもご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou tk_000005.html



▶地域の取り組み・イベント案内 募集中！

当課では、**総合的な交通施策の取組**について情報提供頂ける自治体等を募集しています。**デジタル技術を活用した地域交通の維持・活性化に向けた取組**などを本メールマガジンで紹介し、ノウハウ等の共有を図りたいと考えております。自薦・他薦は問いませんので、4ページの「お問合せ先」宛てにお気軽にお寄せ下さい。

また、**イベントや勉強会・講演会・セミナー**などにつきましても、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方からでも、耳よりの情報でも構いません。下記の「お問合せ先」宛てに是非お寄せください。

▶総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなどがございましたら、4ページの「お問合せ先」宛てまでお気軽にご連絡ください。

▶配信先の変更について

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方につきましては、配信先のご変更をお願いいたします。4ページの「お問合せ先」宛てにご連絡ください。なお、様々な部署で楽しんで頂けるよう努めて参りますので、配信継続も歓迎しております。

▶ 編集後記

昨年度に引き続き、本メールマガジンを担当する伊藤です。先日、初めて2階建てオープンバスに乗車してきました。東京に住んでいたとしても、屋根のない2階から見る景色はとっても解放感があって想像以上に楽しんでしまいました。皆さまもぜひ機会があれば、体験してみてください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします！

【本メールマガジンに関するお問合せ先（配信申込、配信先変更、ご意見・情報提供 等）】

国土交通省 総合政策局 総務課(総合交通体系) 担当:伊藤

TEL: 03-5253-8111 (内線 53-113)

E-mail: [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

総合交通体系ウェブサイト: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

